

テックドクターによる現地調査 (熊本県葦北郡津奈木町)

令和2年度より熊本県葦北郡津奈木町以南のカルテ点検を開始しているが、今回の点検で変朽安山岩が要因と考えられる簡易法砕工のクラックや小段張コンクリートにクラックが発生、路面の側溝には粘土鉱物と亀裂から侵入した水が反応して膨張し、内部からの押し出しにより座屈している。

この変状の原因、対応方針の妥当性について、ドクターによる現地調査を実施した。

出席者: 熊本大学 北園栄誉教授、椋木教授

● テックドクターによる調査



【助言内容】

- ・小段は、下から持ち上げられるような変状が多く認められる。アンカーで法面斜面部を押さえているため、小段にひずみが集中していることも考えられる。
- ・変朽安山岩は粘土が水分を固定して、単位体積重量が重くなり、斜面が不安定化する。

【対策方法】

- ・側溝と張コンとの隙間の植物を除去し、間詰を行うこと。
- ・浮いている張コンクリートは、はがして修繕を行うこと。
- ・変状の拡大が認められなかった箇所でも来年以降に動く可能性があるため、クラック観測点含めた着目点を増やすこと。